

特 集

「子育てのグループ・ダイナミックス」

子育ては、親子というグループ（集合体）に閉じた問題ではない。保育園・幼稚園、学校、地域コミュニティ、あるいは、それをも超えたグループをも視野に入れる必要がある。それら多様なグループの結節点に身を置きながら、親は子を育て、子は成長する。

一見例外的にも見える「傍流」の事例を熟視することによって、「本流」の実態、問題、そして、問題解決への糸口が見えてくる。本流だけを見ていても、自らがその中にずっばり浸かっているだけに、本流の姿はなかなか見えてこない。

本特集は、いずれも傍流にある子育てをとりあげた論文3編からなる。東村論文は、障害児を持つ親の子育て、竹内・樂木論文は、血縁なき血縁関係、すなわち養親による養子の子育て、樂木論文は、地域のNPOによる子育て支援を取り上げている。いずれも、著者が現場の当事者と協同的实践を展開する中から、当事者とともに紡ぎ出したメッセージである。

傍流でがんばる人々と研究者がいかにスクラムを組んでいるか、また、そこから本流に対して、いかなる問題を提起しようとしているか。グループ・ダイナミックスの協同的实践の一端を見ていただきたい。

（編集委員長：杉万俊夫）